

修了生の活躍事例

応用課程のカリキュラムを通して 建築に関する興味が広がりました

小さいころからものづくりに興味があり、高校の進路指導の先生の勧めで、四国能開大の住居環境科（専門課程）に進学しました。その後さらに建築に関する様々な専門性を高めたいと思い近畿能開大の建築施工システム技術科（応用課程）を受験しました。近畿能開大に入校してからは、実大の建物モデルをグループを組んで施工・管理する実習などを通して、建築の施工管理にも興味を持つようになりました。私はこうした「学び」を活かしたいと思い施工管理を仕事として選択しました。

一級建築士の試験に合格！

住居環境科から進学すると一級建築士試験を在学中に受けられるのが応用課程の長所です。この良い条件を活かして応用課程2年のとき一級建築士試験を受験しました。学科の試験では実験や実習の経験によって受験の知識を具体的に理解し身に着けられたことが活きました。設計製図の試験でもこうした経験が記述に役立ちました。合格者の発表で自分の番号を見つけたときにはとてもうれしく思うと同時にほっとしました。



実習で施工したモデル建物

株式会社ナカノフードー建設
大阪支社 工事部

稲垣彩夏さん(24)

近畿職業能力開発大学校
応用課程
建築施工システム技術科

令和3年度 修了



実践的な実習が役に立っています！

実習で施工図に携われる実践的な学校は少ないと思います。実際に使う施工図を理解するのは難しく感じますが、授業での基礎的な知識を覚えていたことで、取り組みやすく思えました。今後の目標は、図面を正しく読み取り、実際に自分で作図、チェックができるようになりたいと思っています。

就職先企業での活躍

稲垣彩夏さんの業務

工事部作業所に所属し現場係員として主に内装、仕上げ工事の施工管理担当をしています。朝礼進行、安全管理をはじめ業者間の調整・施工前、施工後の確認・自主検査および諸検査の立ち合いなど先輩社員の指導のもと積極的に業務をこなしています。

検査を行う稲垣さん ▶



上司からの声 大阪支社 工事部 山下 誠二 様

入社後最初に着任した現場が一緒でした。杭工事から竣工までの14か月間、施工全般を見て学んでもらいました。常に前向きに努力し、解らないことは積極的に質問し解決を図っていく姿勢は立派です。最近は自分の考えを数点用意してから質問するようになり成長を感じました。入社3年目になり後輩たちにも良い先輩と慕われて賞状がついてきたようです。今後更なる成長を期待しています。



株式会社ナカノフードー建設（本社 東京都千代田区） 全国の職業能力開発大学校の修了生15名が活躍

ナカノフードー建設は全国に拠点を構える総合建設業者として、マンション、工場、病院、教育施設など、様々な用途の建設に携わっております。近年においては耐震、免震技術、建物の緑化など、お客様のニーズに応えるべく、技術・品質の向上に努めております。

（施工実績例）

○南紀・はまゆう総合支援学校 ○北九州メディアドーム

